

経蔵

経蔵には 768 点の経典が収められているが、一般的な書庫とは似ても似つかないものである。この建物には、八角形の形をした回転する書棚があり、その 8 つの面にはそれぞれ 96 の引き出しが付いている。これは、仏教における自然界の法則、「法輪の回転」という考え方（「法」とは仏陀の生前の言葉であり、経典に記録された教えのことを意味する）を参照しているだけではない。実際、経典を収めたこの経蔵の書棚は、文字通り「法の回転」を行うことができるのである。このような回転は、それを行う者に良いカルマ（業）を生み出し、来世における地上界への転生のサイクルを抜け出す可能性を高めると信じられている。しかし、それにもかかわらず、この書蔵はここ数年間、回転された形跡がない。経像の建物自体は禅宗が大きな広まりを見せていた江戸時代（1603～1868 年）に建てられたものである。実際、仁和寺は禅寺であったことは一度もないにもかかわらず、禅宗の人気の高かったため、真言宗の寺院にも禅寺の様式の建築の影響をはっきりと見て取ることができる。